

埼玉県と共同で「家庭での地震防災」について啓発！

～共同作成チラシをリニューアルのうえ、防災イベントで解説～

日本損害保険協会関東支部埼玉損保会（会長：谷口 健一・三井住友海上火災保険株式会社埼玉支店長）では、埼玉県危機管理防災部危機管理課および能美防災そなえ 埼玉県防災学習センターと連携して、大規模地震への平時からの備えについて解説した「地震防災チラシ」をリニューアルのうえ、10 月 19 日（日）に同センターで開催した防災イベント「ミニ防災セミナー」で、「家庭での地震防災」について啓発を行いました。

昨年度初めて共同作成した「地震防災チラシ」の内容は、2 部構成となっており、前段は、県危機管理課より、地震に備える「3 つの自助（家具の固定、3 日分以上の水・食料備蓄、災害用伝言サービス体験）」と、災害時のトイレ対策として、携帯トイレを備蓄する必要があることを伝えています。今回、これらの他、新たに、水・食料の備蓄方法として、「ローリングストック法（普段から少し多めに買い置きし、食べた分を買い足す方法）」がおすすめであることを盛り込みました。

一方で、関東支部からは、平時からの備えの一つとして「地震保険も忘れずに！」とし、地震による火災等の損害は火災保険で補償されないことから「地震保険」が必要であることや、保険金の使い途は決められていないので、住宅の修繕だけでなく生活再建のあらゆることにお使いいただけることを解説しています。

セミナーでは、来館者に対し本チラシを提供したうえ、県危機管理課からは、大規模地震発生時の家庭での備えの必要性を伝えるとともに、当支部からは、クイズ方式で地震保険の説明を行いました。

当支部では、今後も引き続き行政機関等と連携して、地域のリスク認識と防災意識の向上ならびに地震保険の理解促進と普及向上に向けて鋭意取り組んでいきます。



日頃からできるいつもの備え／
家庭で地震に備えましょう

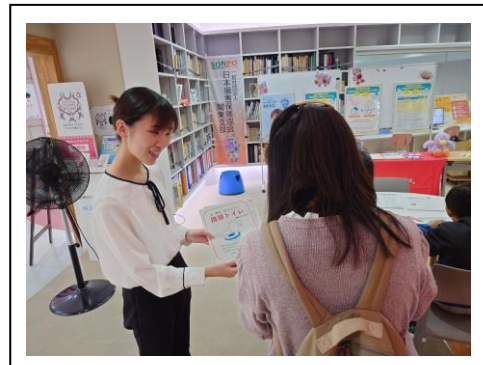
1 地震に備える「3 つの自助」
水・食料の備蓄方法として、「ローリングストック法」がおすすめです。
※普段から少し多めに買い置きし、食べた分を買い足す方法

2 地震時のトイレ対策
大きな地震が発生すると...
いつも使っている水洗トイレが使えなくなる可能性があります。
災害時のトイレは、備えが重要です。
トイレ回数は1人1日約5回で想定し、家族7日分以上備蓄しましょう。
携帯トイレの備蓄
1人1日 約5回 × 家族の人数 × 7日分以上 = 約140枚必要
「防災マニュアルブック（家庭における災害時のトイレ対策編）」はこちら▲

3 能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター ※入館無料
災害を疑似体験することにより、地震時の行動、事前の準備や対応を学ぶことができます。
場 所：鴻巣市袋 3 0 休館日：月曜（祝・休日の場合は翌日）、年末年始
開館時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

地震保険も忘れずに！
地震による火災等の損害は、火災保険では補償されません。
地震に備えるには「地震保険」が必要です！
（注）地震保険は単独で加入することはできません。火災保険とセットで契約する必要があります。
●地震保険は、地震や噴火、またはこれらによる津波を原因とする住宅や家財の損害を補償します。
●保険金の使いみちは決められていませんので、住宅の修繕だけでなく、生活再建のあらゆることにお使いいただけます。
●ご加入されていない方は、是非この機会にご検討ください。
地震保険について詳しく知りたい方は ▶ <https://www.jishin-hoken.jp/>
保険のご契約については、お近くの損害保険代理店または損害保険会社までお問い合わせください。

1・2 に関するお問い合わせ先 埼玉県危機管理防災部危機管理課 普及啓発担当 コバトン＆さいたまっちょ
☎ 048-830-8148
3 に関するお問い合わせ先 能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター
☎ 048-549-2313
地震保険に関するお問い合わせ先 日本損害保険協会 関東支部 ☎ 03-3255-1450



【携帯トイレの必要性を説明する埼玉県職員】



【地震保険の説明を行う関東支部職員】

【共同作成した改定版の「地震防災チラシ」】

※チラシは以下 URL よりダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2025/pdf/2512_chirashi.pdf